

2011年度

科目名	薬学英语B(医療薬学)				
担当教員	小西 廣己、廣谷 芳彦				
配当	薬科4			コード	51036
開期	後期	講時	金曜日1限	単位数	1
授業テーマ	【選択】 医療英語を身近なものとし、臨床での活用を目指す。				
目的と概要	近年高度化する医療に即応し、医薬品の適正使用を推進するためには、最先端の情報を収集して、それを広く活用していかなければならない。最新の医療情報は世界中から英語で発信されることから、適正な情報を取得するには、臨床関連の英語に精通することが薬剤師にとっては不可欠となる。本講義では、現時点まで履修済みの薬理学、生化学、生理学、栄養学、微生物学、薬物治療学、薬物動態学などで学習して得た知識に基づいて、医療や臨床薬学に関する英文に特徴的な文意を正確に把握することで、医薬品情報提供や服薬指導などの薬剤師業務に応用するための実践的な能力を養うことを目的とする。				
成績評価法	試験の成績(80点)、授業への取り組み(20点)を総合的に評価する。				
テキスト	教科書の指定はしない(資料は随時配布する)。				
参考書	講義録 医学英語Ⅰ/日本医学英語教育学会 清水雅子編/メジカルビュー社 講義録 医学英語Ⅱ/日本医学英語教育学会 菱田治子編/メジカルレビュー社 実務文書で学ぶ薬学英语/野口ジュディー著/アルク社				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	履修学生の学籍番号に従って2グループに分け、1)～7)[8]～14)]を受講した後、8)～14)[1)～7)]を受講します。必ず辞書を持参の上受講してください。				
講義計画					
1)医療英語の理解のために必須の文体 (小西) 2)臨床で汎用される用語と表現(1) (小西) 3)臨床で汎用される用語と表現(2) (小西) 4)臨床で汎用される用語と表現(3) (小西) 5)臨床で汎用される用語と表現(4) (小西) 6)医療英語に独特の使用法 (小西) 7)医学論文の抄読と解説 (小西) 8)臨床薬学と症例の抄読と解説(1) (廣谷) 9)臨床薬学と症例の抄読と解説(2) (廣谷) 10)臨床薬学と症例の抄読と解説(3) (廣谷) 11)臨床薬学と症例の抄読と解説(4) (廣谷) 12)英文原著論文の読み方 (廣谷) 13)最新原著論文の抄読と解説(1) (廣谷) 14)最新原著論文の抄読と解説(2) (廣谷) 15)総括とまとめ (小西・廣谷)					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	医療英語の理解のために必須の文体 (担当:小西)	1. 医療英語を理解するための必須単語の使い方を習得する。	独自	知識
			2. 医療分野における特徴的な語法と表現法を学ぶ。	独自	知識
2	講義	臨床で汎用される用語と表現(1) (担当:小西)	1. 身体の部位と臓器組織およびその機能と役割に関連した重要な用語の知識とその表現法を習得する。	独自	知識
			2. 上記の英単語や文体を用いた英文の和訳ができる。	独自	知識
3	講義	臨床で汎用される用語と表現(2) (担当:小西)	1. 臨床症状と各種疾患および生命現象を中心とした重要な用語の知識とその表現法を習得する。	独自	知識

			2. 上記の英単語や文体を用いた英文の和訳ができる。	独自	知識
4	講義	臨床で汎用される用語と表現(3) (担当:小西)	1. 体内物質と生体成分および薬物の作用と効果に関連した重要な用語の知識とその表現法を習得する。	独自	知識
			2. 上記の英単語や文体を用いた英文の和訳ができる。	独自	知識
5	講義	臨床で汎用される用語と表現(4) (担当:小西)	1. 薬物の体内動態と薬剤の投与法などに関連した重要な用語の知識とその表現法を習得する。	独自	知識
			2. 上記の英単語や文体を用いた英文の和訳ができる。	独自	知識
6	講義	医療英語に独特の使用法 (担当:小西)	1. 特有の意味を持つ用語の知識を習得し、一般的な英単語としての使用法との区別ができる。	独自	知識
			2. 医療統計上の確率や可能性を表わす語法について理解できる。	独自	知識
			3. 上記の英単語や文体を用いた英文の和訳ができる。	独自	知識
7	講義	医学論文の抄読と解説 (担当:小西)	1. 臨床で見られる症候や症状に関連した内容の英文抄読を実施しそれらの理解を深める。	独自	知識
8	講義	臨床薬学と症例の抄読と解説(1) (担当:廣谷)	1. 薬物体内動態に関する英文抄読を実施しそれらの理解を深める。	独自	知識
			2. 薬物相互作用に関する英文抄読を実施し、副作用の回避法を再確認できる。	独自	知識
9	講義	臨床薬学と症例の抄読と解説(2) (担当:廣谷)	1. 循環器疾患と薬物療法に関する英文抄読を実施しそれらの理解を深める。	独自	知識
			2. 消化管疾患と薬物療法に関する英文抄読を実施しそれらの理解を深める。	独自	知識
10	講義	臨床薬学と症例の抄読と解説(3) (担当:廣谷)	1. 糖尿病と薬物療法に関する英文抄読を実施しそれらの理解を深める。	独自	知識
			2. 気管支喘息と薬物療法に関する英文抄読を実施しそれらの理解を深める。	独自	知識
11	講義	臨床薬学と症例の抄読と解説(4) (担当:廣谷)	1. 感染症と治療法に関する英文抄読を実施しそれらの理解を深める。	独自	知識

			2. 感染防御に関する英文抄読を実施し、それらの理解を深める。	独自	知識
12	講義	英文原著論文の読み方 (担当: 廣谷)	1. 原著論文の概要の構成を理解できる。	独自	知識
			2. 論文のキーワードを見分け、適切に把握することができる。	独自	知識
			3. 論文の形式と構成の意義について理解できる。	独自	知識
			4. 英文原著論文を正しく読むための構文に関する基礎的な知識と技術を習得することができる。	独自	知識
13	講義	最新原著論文の抄読と解説(1) (担当: 廣谷)	1. 臨床試験に関する論文の抄読を実施しそれらの理解を深める。	独自	知識
14	講義	最新原著論文の抄読と解説(2) (担当: 廣谷)	1. 臨床試験に関する論文の抄読を実施しそれらの理解を深める。	独自	知識
15	演習	総括とまとめ (担当: 小西、廣谷)	1. 第14回講義までの内容の総括とまとめによって、医療英語をより身近なものとする。	独自	知識
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
独自	講義	講義室	2	配布資料、パワーポイント(必要時)	90x14
独自	講義	講義室	2	配布資料	90x1